

サーキット・ライダー 2004年 6月

キリストにある一致：仏教とキリスト教の対話から

あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。そこにはもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。

ガラテヤの信徒への手紙 3：26－28.

5月に大学院の2003年－2004年の年度が終わり、私も月末に期末の課題、小論文を幾つか仕上げ提出し、晴れて学業の方は夏休みを迎えられます。仕事はまだ6月には教団総会やそれに伴い大小幾つものミーティングや雑事がありサマーモードになるのは7月からですが、それでも気分は爽快です。まあなんと単純なことでしょう。今学期は「世界史から見た東アジア(中国、韓国、日本、ベトナム)」に彫刻、それとユニオン神学校で「愛と智慧の出逢い：仏教とキリスト教の対話」という授業を取りました。中でもユニオン神学校で取ったコースは自分がクリスチャンとして歩む上で改めて、他の宗教との比較、対話の中でどうあるべきかを考える機会が与えられ有意義なものでした。またユニオン神学校は全米でも最もリベラルと評判の高い神学校で、私が卒業したドリュー神学校やエール神学校もそれなりにリベラルでしたが、更にリベラルなので、学生も色々な教派、立場、伝統から来ており知り合えば知り合うほど楽しく愉快になりました。

まず仏教とキリスト教という世界三大宗教のうちの二つの比較だけでも、全く違う教義の対話になるので面白いのですが、それに加えて多人種（白人、黒人、アジア系、ラテン系、中近東等）、ウーマンリブ、同性愛者、無心論者、リベラル・クリスチャン、ユダヤ教徒、それに保守クリスチャン（ユニオンにも保守クリスチャン学生が居たのには逆に驚きましたが、これも私の偏見の故と反省しました。）など様々な立場の者が一堂に会するのですから、議論もそれぞれの主張が飛び交い、時に脱線したりもしましたが実に白熱したものになりました。その中で一つ思ったことがあります。それは「もし、ここユニオン神学校のような宗教関係団体（教会、学校など）へ遣わされる者を鍛錬する場で一致を見なければ、恐らくどこにあっても一致はあり得ないだろう。」ということです。これは教会にも言えるのではないかと思います。

私は上述の二つの神学校を卒業して米国合同メソジスト教団にいますので、それだけでリベラルとレッテル付けされることがありますが、逆もまた言えます。とかくリベラルは保守福音派を「頑なで閉鎖的」と批判し、福音派は「リベラルは宣教していない、危ない」と批判をしますが、お互い自己主張ばかりしているように思えてなりません。クリスチャン同士が聖書を振りかざして「自分が正しい、相手は間違っている」とやっていた日には、仏教徒を始め他宗教との会話、人種や性、主義主張の違う人たちと理解しあう事などまず不可能でしょう。私たちにまず必要なのは「他者の痛みを知ること」その為に「センシティブ＝誰に対しても敏感であり察しあえる事」「自分が正しいと言う」傲慢を捨てること」であることが必要です。仏教は元来、伝道宣教の宗教ではないので、比較的このような問題はありますが、キリスト教やイスラム教は外に出て行って伝道、宣教し、人々を回心に導き、改宗させる使命を背負っていますので、どうしても「自分が正しい」ことを主張します。その結果、他者を断罪し排斥する。「誰が救われ、誰が裁かれる」のかは神の御心であり、神のみがされることですが、どうも私たちは「聖書に書いてあるから」と聖書を振り回し、自分が神の座に居座ってしまい人を裁きます。一体いつから私たち人間が人を裁く権利を与えられたのか。確かにイエスは弟子のペテロに天国の鍵を与えましたが、それは真理を解き明かす為であり（マタイ16：19）、更に言うなら多くの人を救う為です。

世界は相変わらずバラバラです。この状態から真に人類が一致するにはまず私達、信仰者が一致してはなりません。その為にはまず神学校の中で一致し、教会の中で一致し、更には教派を越えてクリスチャンが一致しなければ、他宗教、無神論者、多くのイデオロギーを掲げた人たち、また全くそのようなものと関係なく生きている人たちとの一致などは夢のまた夢、在り得ないでしょう。私達は今こそキリストにあって、ユダヤ人もギリシア人も奴隷も自由人もない、男も女もない、{裁く人も裁かれる人もない、裁けるのは神のみ}・・・を実践しなければならないのではないのでしょうか。

吉松 純

***礼拝は午後４時から。Jr.教会（教会学校）も４時からです。子供達は初め大人の礼拝に出席し分級に移ります。**

***聖日予定：**

- 6月 6日：午後３時、聖書研究会、自由祈祷会、礼拝、聖餐式、
13日：聖書研究会、自由祈祷会、礼拝、司会：荒美俊三兄
20日：父の日合同礼拝、午前１０時、教会メモリアル・ガーデンにて。礼拝後、持ち寄り昼食会。
**午後４時からの日本語礼拝はありません。
27日：自由祈祷会、礼拝、司会：荒美和子姉、Jr.教会今期閉会 BBQ 或いは冷麺会食。
7月 4日：自由祈祷会、礼拝、聖餐式

***集会、行事予定と報告**

- * 9日（水）午後７時３０分より聖書研究会。教会日本語オフィス。サムエル記上。
* 11日（金）午前１０時３０分より聖書の学び。牧師館にて。今月は合同メソジスト教団、年次総会が第三週後半にある為、予定を繰り上げます。ご了承下さい。
* 15日（火）午前１０時３０分より聖書の学び。Fort Lee Bethany 合同メソジスト教会で。親と子をテーマに学びます。
* 20日（日）アメリカ人、インド人の兄弟姉妹と共に野外礼拝を教会のメモリアル・ガーデンで持ちます。礼拝後、ピクニック昼食会を持ちます。教会でハンバーガーとホットドックを用意しますので、皆様、一品お持ちより下さい。また各々、イスと飲み物もお持ち下さい。
7月 2日（金）午後７時より、ゴスペル・フォーク歌手、山口博子姉をお迎えし讃美と証の集いが荒美兄姉宅にて持たれます。持ち寄りで夕食を頂きますので皆様一品お持ち下さい。

***お知らせ**

- * 5月にゴーマン・ロバート兄がペンシルバニア大学院を卒業、ビジネスの修士を取得されました。おめでとうございます。
* 礼拝堂を祈られたい方の為に午後３時３０分より開放しています。どうぞご利用ください。

***御協力お願い致します。**

- * ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
* 使用済み切手を集めています。ご協力下さい。消印のついた切手の周り１センチくらいの余白を残して切とって下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（J O C S）に送ります。J O C Sは切手を換金し得られた収益金で海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
* H O P E（The Heart of Pediatric Electrophysiology）というボランティア団体にもご協力下さい。
Electrophysiology という特有の心臓病を患う子供を救う為、寄付金を募り患者や家族に送ったり、病院などの情報交換をしています。募金を下さる方はあて先をH O P Eとしてください。
* 昨年よりケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

連絡先：英語オフィス（２０１）３９１－５４９９日本語及びファックス（２０１）５０５－０３４７
ホームページ：<http://umc-japan.org> 吉松牧師宅 （２０１）３９１－２２０８ pastor@umc-japan.org
教会学校担当：松尾孝恵姉 （２０１）８０２－１７６９ takae723@hotmail.com